

可児市社会福祉協議会役員の報酬等に関する規程

(趣旨)

第1条 この規程は、社会福祉法人可児市社会福祉協議会(以下「本会」という。)の定款第25条の規定に基づき、役員の報酬及び費用弁償に関し必要な事項を定めるものである。

(役員)

第2条 この規程において、役員とは、理事及び監事をいう。

(報酬等の支給)

第3条 役員には、勤務形態に応じて次の通り報酬等を支給する。

- (1) 常勤役員については、報酬及び賞与を支給する。
- (2) 非常勤役員については、報酬を支給しないこととし、法人業務を行う場合に別表1の通り費用を弁償する。ただし、交通費の実費が別表1の費用弁償額を超える場合には、本会職員の旅費規程に基づき、旅費を支払うことができる。この場合、別表1の費用弁償は行わない。

(常勤役員の報酬等の算定方法)

第4条 常勤役員に対する報酬等の額は、次の各号による報酬等の区分に応じて定めるものとする。

- (1) 報酬については、別表2に定める額
 - (2) 賞与については、別表3に定める額
 - (3) 通勤手当については、正規職員給与規程第15条の規定に準ずる額
- 2 常勤役員が職務のため出張したときは、本会職員の旅費規程に基づき、旅費を支給する。

(報酬等の支給方法)

第5条 常勤役員に対する報酬等の支給時期は、次の各号による報酬等の区分に応じて定める時期とする。

- (1) 報酬については、毎月21日とする。ただし、その日が休日にあたるときは、正規職員給与規程第12条に準じた日とする。
 - (2) 賞与については、毎年6月及び12月とする。
- 2 報酬等は、通貨をもって本人に支給する。ただし、本人の指定する本人名義の金融機関口座に振り込むことができる。

3 報酬等は、法令の定めるところにより控除すべき金額及び本人から申し出があったときには、立替金、積立金等を控除して支給する。

(公表)

第6条 本会は、この規程をもって、社会福祉法第59条の2第1項第2号に定める報酬等の支給の基準として公表するものとする。

(改廃)

第7条 この規程の改廃は、評議員会の決議を経て行う。

(補則)

第8条 この規程の実施に関し必要な事項は、理事会の決議を経て、会長が別に定めるものとする。

附 則

この規程は、平成29年6月20日から施行する。

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

別表1 非常勤役員の費用弁償額（第3条関係）

区 分	費用弁償額
非常勤役員	日額 3,000 円

別表2 常勤役員の報酬（第4条関係）

区 分	種 類	金 額
常務理事	給料月額	可児市職員の給与支給に関する条例(昭和42年条例第15号)(以下「可児市職員給与条例」という。)に規定する再任用職員の例による
	地域手当	
	管理職手当	月額 22,800 円

別表3 常勤役員の賞与（第4条関係）

区 分	種 類	金 額
常務理事	6月の賞与	可児市職員給与条例に規定する再任用職員の期末手当、勤勉手当の例による
	12月の賞与	